

# かわねほんちよう 議会だより

第67号

令和4年8月発行  
発行/川根本町議会  
編集/議会広報委員会

賑わいが戻ってきた奥大井湖上駅 (7/17撮影)

【新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金の取り組み… 2・3  
5月臨時会、6月定例会、議員研修報告、  
議員定数等検討特別委員会報告… 4・5  
第2次川根本町総合計画基本構想  
見直しと、後期基本計画 …… 6

一般質問 …… 7～12  
議会の動き、9月議会予定 …… 13  
南部小6年生議会傍聴写真、感想文… 14

# 「対応地方創生臨時交付金」を活用した コロナ対応の新たな取り組みについて(抜粋)

## 【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るためのもの。
- ・地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細かに必要な事業を実施できるよう、コロナ対応の取り組みである限り、原則、地方公共団体が自由に使うことができる。



### 地域経済の支援

#### ・プレミアム付用途別商品券事業 (12,000冊) (2,722万5千円)

町内事業所で利用できるプレミアム商品券 1冊2,000円(プレミアム料2,000円)を発行し、町内の消費拡大及び消費者支援を展開する。



完売したかわね支え愛商品券

#### ・町内事業者応援電子クーポン割引実施事業 (2,040万円)

LINE内でクーポン発行することで、落ち込んだ町内消費を喚起するとともに交流人口の増加を図る。

#### ・川根茶消費拡大、販路開拓支援事業 (500万円)

現代の生活スタイルに合ったティーバッグを製造し、キャンプ場等来場者のノベルティグッズとして配布し、今後の商材としての活用を図る。

#### ・川根茶魅力発信拠点整備事業 (200万円)

川根茶の消費拡大のため、消費者が気軽に喫茶できるオープンテラスを整備する支援。(補助率½、上限30万円)

#### ・事業者継続強靱化事業費補助金 (2,270万9千円)

町内事業者に対し、設備投資や店舗改修に要する費用を助成し、事業継続と経営の安定化を支援する。

#### ・AR技術を活用した町内周遊喚起事業 (356万4千円)

周遊喚起のため、写真を撮るとマンガキャラクターが同時に写るポイントを数か所設置するもの。

#### ・観光戦略プラン策定事業 (251万9千円)

新型コロナウイルス感染症により変化した観光需用に対応したプランを策定することで、戦略的かつ効果的なアフターコロナを見据えた観光振興施策を進め、地域活性化を推進する。

#### ・公共施設周辺環境整備事業 (500万円)

公共施設周辺の除草作業を推進することで、高齢者雇用の維持と地域環境の改善を図る。

#### ・木の駅かわね新商品開発事業 (50万円)

「木の駅かわね」の活性化のため、「ウッドプランク」(バーベキュー用具)の商品化支援を行う。

#### ・日帰り温泉イベント「スタンプラリー」事業 (200万円)

観光交流人口を獲得するため、旅行商品にクーポンを付与し、誘客活動を支援する。

#### ・ロケーションツーリズム事業 (120万円)

観光交流人口を獲得するため、各メディアからの取材依頼を総合的に受入れる体制を築き、観光地としてのブランド向上、地域経済の活性化を促進する。

令和4年度  
1億42万9千円

# 「新型コロナウイルス感染症

## 川根本町独自の

川根本町議会では5月24日の臨時会において、令和4年度に国から交付される地方創生臨時交付金を使用しての新たな取り組み・事業について議論した。各課からの提案に対し、活発な質疑応答、提案などが行われた。その事業内容の一部をお知らせする。



### DX（デジタル化）の推進

- 川根本町公式LINEアカウント情報配信システム導入事業 **202万4千円**  
公式LINEアカウントを開設し、町民等に対し行政情報の円滑な発信と効果的な情報伝達を推進する。
- 高校寄宿舎Wi-Fi整備工事(奥流、よすが苑、南麓寮) **316万8千円**  
集団による接触機会の軽減に向け、オンライン打合せや学習ツールを使った家庭学習に対応できるよう、安定的なインターネット接続環境を整備する。
- 奥大井湖上駅周辺Wi-Fi設置工事 **236万6千円**  
アフターコロナ、インバウンド対応に向け、Wi-Fi環境を整備する。



若者交流センター奥流



### 感染症防止対策の強化

- いやしの里診療所発熱者待機所エアコン設置工事 **17万6千円**
- 接岨峡温泉会館ウイルス対応畳替え事業 **77万8千円**
- レイクコテージ奥大井LED照明改修事業 **106万7千円**
- 抗原検査キットの購入事業(130セット分) **50万円**  
感染症対策に従事する医療系職員及び対面作業に従事する介護、福祉分野職員等が感染の有無を確認するための検査キットを購入する費用。
- PCR検査手数料(100件分) **150万円**  
児童生徒、園児等が濃厚接触者になった場合の感染の有無に関する検査に要する費用。



いやしの里診療所



接岨峡温泉会館



### その他

- かわねほんちょう遊び場マップ作成事業 **313万円**  
移動制限や近隣地域での活動が強いられる中、子どもたちに安心で安全な遊び場と遊び方を提供し、地域内における活動範囲の情報提供を推進する。
- 歴史、文化資源を活用した地域活性化事業 **267万4千円**  
「資料館やまびこ」開館30周年に合わせ、町内の歴史、文化を発信する取り組みを行い、地域活性化と町民の郷土愛の醸成を推進する。
- 両国吊橋休憩所トイレ改修 **250万8千円**  
千頭駅を起点としたウォーキングコースへの誘導により人流の分散を図るため。



両国吊橋休憩所トイレ

# 5月臨時会

令和4年5月24日に臨時会を開催した。専決処分の承認1件、補正予算の議案2件を可決した。

番号	件名	概要	審議結果
承認第1号	専決処分した事件の承認について(川根本町税条例の一部を改正する条例について)	固定資産課税台帳等の閲覧に関する事項の変更など、地方税法の改正に伴って関連する税条例の一部を改正した専決処分について承認をしたもの。	賛成多数で可決
議案第30号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第2号)	1億1,470万円を追加し、総額を58億240万円とするもの。 (主に新型コロナウイルス感染症対策地方創生交付金26事業/詳細2~3ページに掲載)	全員一致で可決
議案第31号	令和4年度川根本町いやしの里診療所事業特別会計補正予算(第1号)	490万円を追加し、総額を5,760万円とするもの。 (医師派遣業務委託料外)	全員一致で可決

# 6月定例会

令和4年6月2日から21日までの会期で定例会を開催した。繰越の報告2件、総合計画策定の議案1件、条例の改正1件、補正予算の議案3件を可決した。

番号	件名	概要	審議結果
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について(令和3年度川根本町一般会計予算)	繰越額合計1億2,704万9千円を報告。 ●住民基本台帳システム改修270万円 ●尾呂久保飲料水供給施設整備1,611万9千円 ●寸又峡遊歩道(天子トンネル)点検調査設計535万7千円 ●北部残土処理場整備(地権者と協議中)2,500万円 ●林道平栗線災害復旧工事(2カ所)7千4万円 ほか	全員一致で可決
報告第2号	事故繰越し繰越計算書について(令和3年度川根本町一般会計予算)	●小中学校情報機器タブレット整備(350台)2,047万5千円 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、世界的な半導体不足によるメーカーの製品減産により、年度内の納品完了が困難になったことによる。	全員一致で可決
議案第32号	第2次川根本町総合計画基本構想見直し及び後期基本計画の策定について	6月21日議会最終日に、付託を受けた川根本町総合計画基本構想特別委員会(議長を除く議員全員を委員とする)の審査結果(起立多数で可決)が報告され、議決した。 (討論は5ページ、詳細は6ページに掲載)	賛成多数で可決
議案第33号	川根本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	上位法、国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、賦課限度額を改めるため、町国民健康保険税条例の一部を改正するもの。 (基礎課税額を63万円→65万円に、後期高齢者支援金課税額を19万円→20万円に)	賛成多数で可決
議案第34号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第3号)	5,430万円を追加し、総額を58億5,670万円とするもの。 ●住民税非課税世帯臨時特別交付金事業 2,568万円 ●子育て世帯生活支援特別給付 168万円 ●情報発信用50型モニター 町内9箇所14台配備 350万4千円 ●三ツ星保育園の浄化槽設置替 1,320万円 ほか	全員一致で可決
議案第35号	令和4年度川根本町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	120万円を追加し、総額を9億1,820万円とするもの。 (実績に基づく保険給付費交付金等返還金の計上)	全員一致で可決
議案第36号	令和4年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	610万円を追加し、予算総額を2億350万円とするもの。 (水道技術者講習会経費60万円と、旧青崎配水池の解体撤去工事費550万円)	全員一致で可決

賛否が分かれた議案

	議案番号	件名	中原	中田	中澤	中野	野口	大竹	石山	澤西	藤田	中野	佐々木
令和4年第2回(5月)川根本町議会臨時会	承認第1号	専決処分した事件の承認について(川根本町税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和4年第2回(6月)川根本町議会定例会	議案第32号	第2次川根本町総合計画基本構想見直し及び後期基本計画の策定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議案第33号	川根本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※杉山広充議長は、採決に加わりません。

議案第32号の討論

討論 川根本町総合計画の策定に

反対 大竹 勝子

計画時点で170人近い人口のズレが生じている。「水道料金の改定」が記されているが、安易に値上げすることは、認められない。救急車や医療機関の利用と受診の適正化では、利用と受診の抑制と見られる。計画が未達成でも何とも思わない悪しき惰性の象徴のような計画には反対である。

賛成 中原 緑

先の特別委員会において各分野別施策に対する詳細な実施計画は、別に定めていると説明があり、町の前向きな姿勢が質疑の答弁から感じられた。具体的な内容は計画策定後検証委員会で確認され、進捗状況についてもしっかり検証され、町民へ広報されると理解したので賛成する。

議案第33号の討論

討論 国保条例の一部を改正する条例に

反対 大竹 勝子

国民健康保険制度は、自営業者や年金生活者・無職の方が、多く加入されている。相次ぐ制度改悪が繰り返され、国の負担が半額でしたが、最近では、30%しか負担していない。今回の改定で、影響を受ける加入者については、負担増になるため、反対する。

賛成 中原 緑

高齢化の進展等により医療給付費等の増加が見込まれるなか、限度額の合計額を3万円引き上げることにより、高所得層にはご負担になるが、中間所得層の被保険者に配慮した見直しであり、社会において公平な改正であることから、この条例の一部を改正することに賛成する。

議員定数等検討特別委員会報告

4月22日、第4回特別委員会を開催、今後の上程までのスケジュール・議員の適正数、課題等について審議し、各委員が町民からご意見を聞き取ることを決定しました。

5月24日、第5回特別委員会を開催、各委員から聞き取り調査の中間報告を行いました。

また、近年議員定数を変更した河津町・松崎町各議会を訪問することを決定し、7月12日に実施しました。

意見交換の結果は、次号で報告いたします。



議員研修報告

5月30日、自治体議会研究所特別セミナーが藤枝市で開かれ、当町の議員7名のほか、袋井市・焼津市・吉田町などから総勢27名の議員が参加しました。

テーマは「議員の資質向上と議会運営の基本」、講師は自治体議会研究所代表の高沖秀宣氏でした。

「議会は住民を代表する機関であり、いかに民意を反映できるかが大きな課題。政策機能も担っているが、発揮されていない。議会として力をつけることが大事。」といった内容で、大変勉強になった研修でした。



# 町の未来を作る

## 『第2次町総合計画』 令和4年度から令和8年度後期基本計画

町総合計画は、町の目指す将来像『水と森の番人が創る癒しの里 川根本町～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～』の実現を目指し、2007年3月に第1次計画、2017年3月に第2次計画が策定されました。2022年3月に前期計画が満了となり、4月からの5年間の後期基本計画が策定されました。

### 計画策定までの経過

この計画は、町行政全般の重要な指針となるもので、基本構想・基本計画・実施計画から成っています。

昨年1月、町民アンケートによる意識調査から始まり、町職員による検討、総合計画ワークショップ等を重ねました。

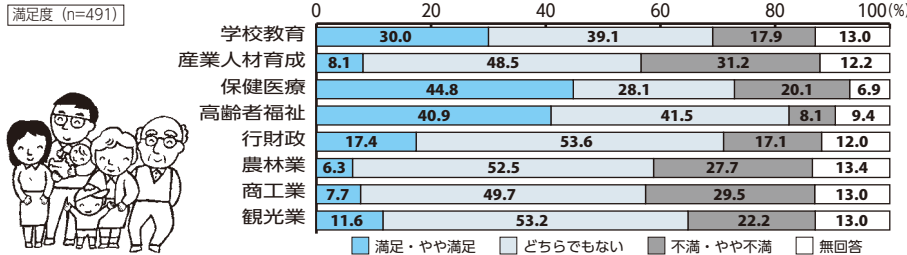
その後、昨年12月から静岡産業大学黒田宏治名誉教授を座長に、町内各会代表13名の、町総合計画審議会に諮問され、これまでの進捗状況、新課題把握と整理、社会情勢等を認識し、検討・見直した計画案が町長に答申されました。

30日間のパブリックコメントをへて6月議会上程、町議会総合計画基本構想特別委員会に付託検討可決されて議会に報告、議会として決定されたものです。

### 計画の中身は

総合計画は、資料編含め全153ページ、計画は大きく二本の柱があり、第一に、「町の強みを活かすプロジェクト」として、お茶・温泉・自然を上げ、

### 町施策の満足度 (アンケートより)



豊かな自然環境と、温泉これに囲まれた川根茶の魅力を活用し新たな強みとして再構築していくとしています。第二の柱は、「人口減少克服を目指すプロジェクト」として、「仕事」というテーマで、仕事の創出で町内で暮らし働けるようにする。「人」というテーマで、個に応じた教育、住み続けたい住んでみたい町づくり、広域的観光旅行の展開をする。「町」とい

うテーマでは、安定した家庭生活維持のできる環境整備、健康・安心・便利に暮らせる地域環境を整備する。という方向を上げており、これに基づいて行政は、様々な事業を計画、実施していく事になります。計画の検証は、静岡大 学小泉祐一郎教授ほか、町内より12人で検証委員会が行うこととなっています。

### 議会の『町総合計画基本構想特別委員会』検討の報告

6月議会で付託された委員会（委員長澤西議員、副委員長石山議員）で検討された質疑応答の一部を挙げますと、

**質問『水問題、リニア関係はどう考えるか。』**

**答弁『自然・環境・伝統分野で対応、各課連携の取り組みとしている。』**

**質問『審議会では、各代表から各団体としての意**

**見が出されたか。』**  
**答弁『各団体の意見を踏まえての発言と感じている。』**等多くの質疑応答があり、討論に移り、

『具体的内容が示されていないので反対する。』『詳細計画は別で定めるとの説明なので賛成する。』の発言があり、採決し、賛成多数で可決されました。



さ さ き なお や  
佐々木直也 議員



それぞれの考える「よい町」をみんなで作ろう！

**質問** 町長、教育長が考える「よい町」とは。

**答え** 町民と行政が積極的に関わり合える町。

**質問**：町長、副町長、教育長が考える「よい町」「素敵な町」とはどのようなものか。

**町長**：町民が安心安全に暮らし、まちづくりに参加し、行動できること。そして行政がそれに応えられる存在であること。

**副町長**：生活する人、来訪する人が笑顔でいる町。

**教育長**：受け継がれてきた地域社会の絆を大切に、世代を超えて豊かに関わり合い、安心して自分らしさを発揮しながら自己実現を果たし、日々成長していける町。

◎今回の発言というのは、今後の大切な判断基準になると思う。各皆さんの思う「よい町」というもの

**質問** 現時点での学校再編の進捗と今後の日程は。

**答え** 早期に対応を進めるように指示している。

**質問**：3月定例会以降、公式の情報がない状況に、心配や不安の声が多い。現時点での進捗と今後の日程を伺いたい。

**町長**：早急な対応が必要と考え、学校や関係者を含め、調整を図っている。具体的には、改修箇所や工事内容を見直しながら、よりよい計画に取りまと

め、再設計業務委託料を直近の議会に諮る予定である。

学校再編計画の停止が与えた影響で教育活動の調整に苦労をかけているので、慎重であるとともにスピード感をもって対応したいと考えている。できるだけ早い段階での町民への説明会、関連する

の共通項を見つけたら進めていければ、どんなよくなっていくのではないだろうか。

私の考える「よい町」とは、その町をなんとなく気に入って住んでいる人がたくさんいる町である。ぜひ皆さんそれぞれの「よい町」を改めて考えてみていただきたい。

予算の計上、必要となる条例改正など、関係者と調整を図りながら一体となつて進めていく。

◎具体的な話は未だなかったが、関係する方々が一体となつてよりよい計画を立てていくという話がうかがえたので、そのように町民の方々へ説明させていただく。



資料館やまびこ



さわにし しょうじ  
澤西 省司 議員

**質問** 水道事業は水道料金だけでは厳しいのでは

**答え** 水道料金の見直しは今後も必要と考える

質問：水道管路の布設替え工事での多額の費用は水道料金だけでは厳しいのではないかと。

町長：水道料金だけではなく起債を活用するなど、計画的に事業を進めていく必要がある。

質問：簡易水道施設の利活用でマイクロ水力発電事業の促進は電気代の支

援となるのでは。

くらし環境課長：三施設が実施可能だが、一定の水量が安定していないなどの要因もあり、十分な検討の中で推進していく必要がある。

質問：町内の砂防堰堤の利活用は少額投資でマイクロ水力発電事業を促進することが可能であり、

方向性としては公設民営とすれば、地区の財産ともなり、地区の活性化や維持にも寄与するのではないかと。

町長：大雨が降れば沢は濁流となり目詰まりの恐れもある、導入においては十分な基礎調査とメリットやデメリットを確認する必要があると考える。

**質問** 資料館やまびこの入館者数を増加させるには

**答え** 接岨地域全体を観光誘客事業で活性化したい

質問：資料館やまびこの入館者数を増加させるには。

町長：資料館やまびこの強みを生かし、今年度、接岨地域において観光誘客事業を実施予定である。質問：奥大井湖上駅や接岨峡温泉会館を訪れる、多数の滞在的な観光客を取り込むのは可能では。

社会教育課長：民俗学や昆虫などの分野を学ぶ大

学等へのPRにも力を入れ、玄関付近に置く大型モニターを活用し情報発信をする他、資料館やまびこ開館30周年記念イベントを計画しており、観光客に対しては仕掛けづくりをしていきたい。

質問：資料館やまびこに

は外から見たインパクトが絶対的に不足しており、何かイベントをやっているとかわせるような、仕掛けが必要ではないかと。

観光商工課長：誘客するために、やはり外から見たインパクト、玄関口での興味を引くような看板等が必要であると認識しているところである。





なかざわ そうや  
中澤 荘也 議員



**質問** 带状疱疹予防接種への公費（一部）負担を

**答え** 希望者への一部助成を検討していきたい

質問：带状疱疹の予防接種を希望する人たちに対し、発症の予防等の観点から、公費負担を行う考えはないか。

質問：国の子宮頸がん予防接種ワクチンの積極的勧奨を再開したことを受けての町の対応は。

町長：費用の一部助成制度の創設については、現状においては予定していないが、関係者の意見を聴きながら、希望者への一部助成を検討していく。

健康福祉課長：今年度対象となる中学1年生、高校1年生の女子62名に対し、勧奨通知等を送付し、ワクチンの有効性やリスク等を十分理解し、接種を受けていただくよう対応

応じた。  
質問：接種機会を逃した人への追加接種制度の導入を図る考えはあるか。  
健康福祉課長：国からの通知を受け、対象者129名に勧奨通知等を送付し、接種を奨励した。接種費用については、今後補正予算等で対応していきたい。

**質問** 合同練習への生徒の送迎は、スクールバスで

**答え** 合同練習への生徒の送迎は、保護者の責任で

質問：休日における部活動への生徒の送迎を、スクールバスを利用して行うことはできないか。

教育長：通常の部活動の練習に伴う移動については、保護者の責任で行うこととしている。

質問：部活動の地域移行に対する町の考え、取り組みについて伺う。

教育長：コミュニティスクールを活用した学校と地域との協議の中で、今後の部活の地域移行や指導者の確保・育成等を含めた地域における部活動の在り方について、併せて検討していきたい。

質問：地域移行を行う場合、指導者の確保、育成をどのように行う考えで

あるか伺う。  
教育長：どんな受皿となるスポーツ団体があるかということも、きちんと検討しながら、コミュニティスクールの中で、今後の活動のあり方、指導者の確保等を協議していきたい。



リニアの工事で、貴重な自然環境が破壊されないか…



製茶工場の持続で放任茶園も増やさない…



いしやま きみお  
石山貴美夫 議員

質問 リニアの動向、水の番人、環境監視どうする

答え 県を筆頭に、8市2町連携で進めていく

質問：リニア問題は、岸田総理の、リニア実験場での発言など、動きが出てきたが、町長の考えは。

町長：県を筆頭に、8市

2町連携して進めたい。

質問：川の環境が重要で、水の番人として独自の水质検査をし、結果を積上げるべき。また、長島ダム下流の濁水解消は。

町長：川の水質検査は、

選取取水設備により放流

質問 移住策の目標実績は。茶機械修理費の助成を。

答え 移住、年5件を目標。修理費前向きに考える。

質問：移住定住策の目標と実績、費用対効果をどう見るか。

町長：目標は、年5件。

企画課長：令和3年予算

で移住関連2事業で、1、186万円で、移住が21件、Uターン19件である。質問：町出身、縁者のUターンには、格段の手厚い助成をすべきでは。

町長：制度設計も考えて

くらし環境課長：県・島

田市が川の水质検査実施中で連携して水质の変化を見守る。濁水は、県・

ダム側に要望し、ダム下

流の水质保全維持のため、選取取水設備により放流実施中と聞いている。

質問：リニアの動きの中

で、町は閑蔵線を開け、

井川から山梨に抜ける夢

町長：費用対効果と言うと色々あるが、私の方針であり確り取り組みたい。

企画課長：Uターン移住

も現制度を検証し、効果

的補助金も検討する。質問：茶が基幹産業なら廃業要因にもなる機械修理費助成をすべきでは。

町長：制度設計も考えて

の中部縦貫道路の要望を

する時ではないか。町長：閑蔵線を開けたい

思いは同じである。

質問：環境重視の観点から、リニアの危険な残土処理は、大井川鐵道で搬出する提案があるが。

町長：今後話していきたい。

(ほか関連した質問21問)

質問：町の高齢者が五割を超え、高齢ドライバーは速度制限50<sup>キ</sup>は危険、40<sup>キ</sup>に戻すべきでは。

総務課長：令和2年島田

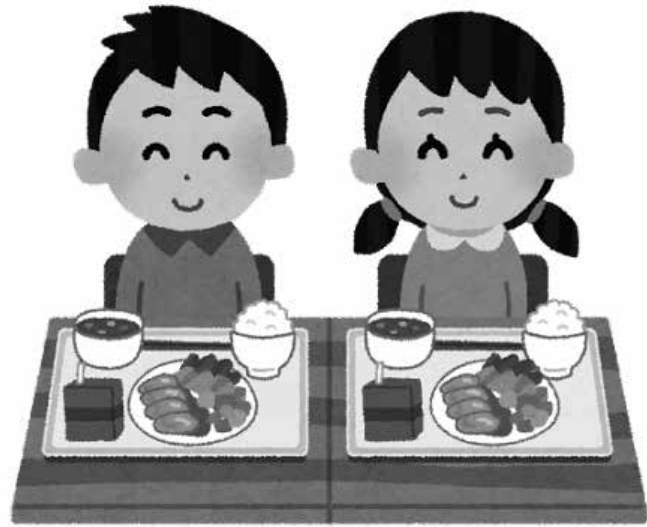
警察署交通規制審議会で、

川口信号から千頭間を50<sup>キ</sup>にとの報告があった。関係会議等で、そうした意見を伝えたい。

(ほか関連した質問23問)



おお たけ かつ こ  
大竹 勝子 議員



質問

補聴器購入時の補助制度を求めます。

答え

必要な人数を把握し、公ですべきか検討する。

質問：当町の高齢化率は50.9%となり過半数を超え、NHKの調査では、65歳以上3人に1人、75歳以上では7割以上に加齢性難聴がみられると報告有り、当町に当てはめると65歳以上の人口は、3,129人で、その3分の1だとすると1,000人程度はいると想定

される。補聴器購入の補助制度の創設について、昨年12月の一般質問で検討するとう答弁だったが、その後どのような検討をしたのか。  
高齡者福祉課長：補助制度を作るにあたって困っている方、必要としている人が、どれくらいあるか把握した上で、必要性、

費用対効果それを公ですべきか否かも含め、検討している。  
質問：職場健診でやっているオージオメーター検査を、特定健診に取り入れ振り分けしたらどうか。  
健康福祉課長：委託している榛原医師会と厚生病院に対応できるか確認する必要がある。

質問

学校給食の無償化をする考えはないか。

答え

限りある財源をどう使うか慎重に検討する。

質問：急激な物価高騰で、子育て家庭に重い負担になっている。学校給食費の未払いはないか。  
町長：当町の学校給食事業においても影響は少ないと認識している。  
教育総務課長：令和3年度の未払いはない。  
質問：育ち盛りの子供たちにバランスの取れた栄養

養ったぶりの給食をとるところを憲法26条の定められていた義務教育の原則を具体化するものではないか。人口減少を食い止める、子育て支援としても給食費を無償化する考えはないか。子供の数が少ないからこぞできる町長が言われる「安心して暮らせる町」なのではないか。

町長：町づくりにおいて子育てしやすい環境づくりが大切である。今確かにこの町は子供たちも少なくなっている、いろんな状況のなかで財源確保すれば、いろんなことに取り組んでいける。限りある財源をどこにどのようを使うか慎重に検討したい。



茶作業ただいま奮闘中！

のぐち なおじ  
野口 直次 議員

## 質問

生産資材・肥料価格高騰への対策を再度聞く

## 答え

何らかの農家支援対策を講ずる考えでいる。

質問：生産資材、特に肥料価格高騰はもちろん、肥料供給不足が現実味をおびてきた。川根茶存続のための緊急対策を講じる考えがあるか伺う。

町長：世界情勢の不安定に起因する農業資材の調達不安に関しては、地域や自治体において対応に難しいものがある。農協中央会においては、原材料調達及び代替品調達の対応はおおむね出来ていると聞いているが、今後状況変化することも想定されるので、資材等の高騰対策を含めた何らかの農家支援を講ずるよう考えている。

質問：本来は来年の事業要望書は11月末ごろ提出だが、6月補正では箇所付けなしとも考えられる自力作業道開設補助金の

予算計上は、農家のための緊急救済要素を含めたのかを伺う。

農林課長：町補助金は農業にかかわらず計画性を重要視することが原則。ただ茶畑の場合、収穫が年に数回で、その狭間で、農家は施設計画を検討する。このことから、前年度に要望してということではなく、即時的対応をしていった方が農地の流動化、耕作放棄地の防止等につながるという判断からである。生産者は、限られた人に絞られてきており、人・農地プランもあることから、農地を集約化していくにはどうすればいいかを踏まえた対応であったということ。

質問：危機的状況の中であっても、来年に向かって一人でも離農を思いと

どめるために、町全体で農業者に限らず知恵を出し合い共有し何よりも故郷の環境を守り、後世に残すことを考えたい。農家の生計が成り立つには販売出口対策が重要となる。茶の販売に対して町の抱負等お聞きする。

町長：販売については観光商工課と農林課が連携して支援をしていければと思っている。新しい商品の販売取り組み等で、これまで以上に積極的に川根茶を押し上げていくつもりでいる。

他「会議用及び情報発信モニターなどの整備費」  
「小中学校の給食費について」2件

# 議会の うごき

4月

- 3日 消防団辞令交付式  
広報委員会
- 4日 郡監査委員協議会監査  
五市二町議長連絡協議  
会監査
- 5日 川根高校入学式、川高  
部活動後援会理事会
- 6日 広報委員会
- 12日 寸又峽美女つくりの湯  
協同組合通常総会
- 15日 広報委員会  
第16回茶振興献茶式
- 16日 文化協会通常総会
- 22日 議運、全協、議員定数  
等検討特別委員会
- 25日 広報委員会
- 26日 例月出納検査、まちづ  
くり観光協会総会、商  
工会総会
- 28日 川高部活動後援会総会

5月

- 2日 茶工場激励訪問
- 16日 島田警察署管内防犯協  
会監査
- 17日 財政援助団体監査
- 16日 町総合計画審議会
- 24日 第2回臨時会・議運・全  
協・定数等検討特別委  
員会
- 26日 例月出納検査
- 27日 社会教育委員会
- 28日 三町議長打合せ
- 30日 全国議長会研修会  
議員研修(藤枝市)
- 31日 地議連総会・研修会
- 2日 定例会・議運・全協
- 3日 県町村議長会総会
- 4日 川高南麓祭
- 7日 南ア・自然環境保全  
活用連携協議会総会
- 10日 定例会・議運・全協  
広報委員会
- 12日 志太広域組合設立  
50周年記念式典
- 21日 6月定例会・全協
- 29日 月例出納検査、県・浙  
江省友好40周年書道交  
流展開幕式

## 堆積土砂搬出 町内のダンプ走行状況

(石山議員一般質問より)

区間	台数	往復	期間
千頭一石風呂	35台	6	7月末
町内一島田市	60台	5	11月末
長島ダム一犬間	5台	15	10月末
長島ダム一身成	15台	4	11月末

◎補正予算等で追加・延長される事あり。

## ◆9月議会定例会の日程◆

9月1日	(木)	(9時～議場)	定例会本会議
9月13日	(火)	(9時～議場)	定例会本会議
9月27日	(火)	(9時～議場)	定例会本会議

- 議場・大会議室は、役場本庁3階です。
- 日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局(56-2229)まで、お問い合わせください。
- コロナ対策として、議場内の傍聴人数を、縮小しておりますので、ご了承ください。

議会はどなたでも傍聴できます。

## ご意見・ご感想をお寄せください。

議会だよりに、読者の声を載せていきたいと考えています。「かわねほんちょう議会だより」の中で気になる記事や、議会に関する事など、町民の方からの声をお待ちしています。ご協力をおねがいます。

募集期間：随時

連絡先 TEL 0547-56-2229  
FAX 0547-56-2235  
Mail: gikai@town.kawanehon.lg.jp  
(川根本町議会事務局)  
郵送: 〒428-0313  
静岡県榛原郡川根本町上長尾627  
議会事務局内 広報委員会宛

# 中川根南部小の6年生 議会を傍聴



◎元気な6年生です

6月議会定例会最終日、中川根南部小の6年生8人が傍聴されました。感想文を寄せていただきましたので、抜粋して掲載いたします。

## 議会の感想(6月21日の議会傍聴)

川根本町の住民が幸福に暮らしていくために、水道料金を安くすることや、他にも様々な川根本町の住民が幸福に暮らすための工夫がどのようなものか知ることができました。

議会では、「質問⇒答える⇒再質問⇒答える」のような流れで会議をしていたことや、何回も質問して町のためにどう考えているのかがわかりました。自分のためだけでなく、住民が住みやすい町をつくるために話し合い、住民のことを真剣に考えてくれているのだと思いました。議会を見学したことを参考にしてみんなが意見をいい、わからないことをしっかり言い合えるような話し合いがしたいです。

自分たち住民のことを考え、いろんなことを考えて「こうしたら人が増えて税金が増える、そして私たちの暮らしが楽になると常に住民のことを考えて話している。常に住民の幸せを思って話をしてくれていて、本当に住民を大事にしている」と思った。

実際どのような流れで話し合いをしているのかわからなかったけれど、聞いていて流れを理解できたし、意見をいったらそれに対して意見を伝え合っていたから両方の意見がわかりました。その話し方を、学校の行事等の話し合いの中で意識していきたいと思いました。さらに、より良い町にしていくために話し合いをしてくださり、過ごしやすくするために考えてくれているので、幸せだと感じました。

たくさんの方々が自分たちの町をよくするために考えてくださったり、話し合ってくださいたりしていたから私たちは幸せだと思いました。議会の方々の良い町はどのような町なのか、自分が思う町と違ったり、同じだったり、知ることができました。

議会では、私たちがより良く生活できるように、様々な人たちが自分のことだけでなく住民のことを考えて話し合いをしたり、自分の疑問を解決できるまで質問したりしていた。また、解決を目指す時に、自分の意見をはっきり言って話し合いをしてすごいと思ったし、そういう話し合いを自分たちもできるようにしたいと思った。

議会の話し合いを見て私は、一番に町民のことを考えて、観光客のことや水道水のことについてなど話し合いをしてくださっており、幸せだと思いました。ありがとうございます。

議会を見学して、質問に対する自分の考えを言い、課題を解決していくことや、意見を交換し合い、代表の人がすべてを決めるのではなく、様々な人が協力する大切さを感じた。また、授業で気になっていた疑問が解消できたり、議会の仕組みや話し合いの進め方を理解することができた。今回学んだ仕組みや決め方をこれからの授業などで活用したり、将来このような仕事についたらこの経験を活かしたりしたい。

7月2日に起きた通信障害は、正に現代社会の弱点とも言えるべき出来事でした。たつた一社の機器の不具合から起きた通信障害は携帯電話のみならず物流や決済といった社会インフラを長時間に渡って混乱させました。幅広いサービスの基盤となる通信網にひとたび不具合が生じれば暮らしが直撃を受ける現代社会のもろさを垣間見た感じでした。この広報誌が皆様のお手元に届く頃は夏休みの真最中かと思えます。コロナに注意し家族で大いに楽しんで頂きたいと思えます。(藤田至)

## 編集後記

## 議会だより66号記事訂正とお詫び

4、5ページ上段、令和4年度一般会計・特別会計予算総額56億5,000万円は、一般会計のみで特別会計と合わせて予算総額82億9,120万円になります。7ページ上段、3月定例会賛否が分かれた議案の表に「議案第7号 川根本町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」「大竹議員は反対、他の議員は賛成」の欄が漏れていました。表の下の議案26件は、議案25件の誤りです。訂正してお詫び致します。